

## ビルマのピョーピョーアウンさんら自由の身に!

一大ニュースです! ビルマの学生活動家を束ねてきたピョーピョーアウンさんとリンテツナインさんが4月8日、釈放されました。



4月の初旬に発足した新政権は発足直後、できる限り早く全ての良心の囚人の釈放に向けて努力すると発表していました。当初、ピョーピョーアウンさんの名前がこの釈放者リストに入っておらず、釈放が危ぶまれたのですが、4月6日になって起訴が全て棄却されたという情報がアムネスティに入り、胸をなでおろしました。

一昨年から全ビルマ学生連盟の事務局長をしているピョーピョーアウンさんは、学問の自由を制限すると思われる新国民教育法に強く反対し、様々な抗議活動をしていました。昨年3月にそのデモが最も拡大した際、警察当局はそのデモに激しい弾圧を加え、ピョーピョーアウンさんら多くの学生を拘束したのです。彼女はその後、騒乱罪など複数の容疑で起訴され、裁判を受けていました。実刑なら最高13年を受ける可能性がありました。昨年3月以来、鉄格子内での生活を強いられてきたのです。

夫のリンテツナインさんは、全ビルマ学生連盟の中央執行委員会のメンバーで、数カ月の逃亡生活ののち、昨年11月に逮捕されました。彼も昨年3月の抗議活動に参加したとして起訴されていました。妻と同様に活動に関わる複数の容疑で起訴され長期の実刑が懸念されていました。

今回の釈放への急展開は、新政権の発足がきっかけとなりました。釈放されたピョーピョーアウンさんは、アムネスティに対して次のようなメッセージを寄せてくれました。「私はいたって元気です。夫とともにビルマの新しい時代の到来を祝っています。アムネスティの支援者がいろいろなキャンペーンで私たちのために懸命に運動してくれたことに、心より感謝します。皆さんのお祝いのメッセージを読ませてもらいました」さらに、「まだ投獄されている良心の囚人がいます。引き続き、皆さんが圧力をかけ続けてくれるようにお願いします」と、より一層の支援を求めることも忘れませんでした。

ピョーピョーアウンさんの釈放を求めて、アムネスティは、ライティング・マラソンでも彼女を取り上げました。当局や本人に送られた支援メッセージは39万4000件を超えました。その結果も少なからず今回の結果につながったと言えます。

また、新政権の誕生によって、ピョーピョーアウンさんから学生活動家以外にも、多数の良心の囚人が釈放されています。

例えば、ユニティ紙の記者5人です。ユニティ紙は、化学兵器を秘密裏に製造する工場をすっぱ抜いたために、国家機密漏洩で10年の実刑判決を受けていました。また、作家で民主運動団体の幹部のティンリンウーさんも、今回の新政権発足に伴って釈放されました。イベントでの講演で、差別と偏見を促す可能性があるとして仏教を非難したことが、宗教の侮辱に当たるとして仏教主義の過激派から反発を買いました。その圧力で当局が動き、実刑2年を言い渡されたのです。

彼らの釈放に向けて様々なアクションを起こしてくれた皆さん、ありがとうございます。良心の囚人がゼロになるまで、引き続き、アムネスティは運動を展開していきます。より多くの皆さんがアクションを起こしてくれることを期待しています。どうぞご協力ください!

## 南スーダンでの2人の釈放と今後のアクション

南スーダンで拘束されていた大学教授のレオンジオ・オンクさんとジョセフ・バコソロさんが、4月末に釈放されました。2人とも起訴もなく釈放されました。アムネスティの調べで、2人を含む35人が同時に治安当局に拘束されていたことが分かりましたが、その拘束理由はいまだに不明です。今もって拘束されている33人は、裁判にかけられているわけでもなく法的地位も不明です。さらに、そのうちの数人は、隔離拘禁の状態に置かれています。満足な食事が与えられず、1日1食の時もあるといいます。暴力を受けるときもあるとのこと。また、33人以外でも治安当局に秘密裏に拘束されている人たちがいる可能性があります。アムネスティは、不当に拘禁されている人たちが無事に帰宅できるよう、近日中に「緊急行動」を呼びかける予定です。皆さん、ぜひご協力ください。

## ブルキナファソでの少女の強制結婚にノーを！

アムネスティの調査報告書「結婚を強いられる少女たち」が4月26日、西アフリカにあるブルキナファソ共和国の首都、ワガドゥグーで発表されました。そのレポートの中でアムネスティは、会員の皆さんに、少女の強制結婚に反対するアクションを呼びかけています。アムネスティでは、ブルキナファソの強制結婚に反対し、昨年も以下のようなキャンペーンを行っています。

[https://www.amnesty.or.jp/get-involved/action/burkinafaso\\_201511.html#form](https://www.amnesty.or.jp/get-involved/action/burkinafaso_201511.html#form)

このキャンペーンを実施する上で活用いただける資料をいくつか用意していますので、ご確認下さい。また、ソーシャルメディアを利用する場合には、[イラスト](#)を用意しています（本 UA ニュースが紙版の方は、<http://www.amnesty.or.jp/library/ua/index.html> の5月号へ）。以下にソーシャルメディアでそのまま利用できるメッセージの例文を用意しましたので、そのままご利用ください。

・ Girls in Burkina Faso want their childhoods back. Support them! (少女たちに子どもらしい生活を！)

・ 52% of girls in #Burkina will marry before they're 18. Many are forced into it. Say NO to forced marriage. (52%の少女が18歳未満で結婚。強制結婚にノーを！)

大統領へのメッセージには以下を使ってください。

・ Honor your promise to stop forced marriage. Let girls be girls in #BurkinaFaso (強制結婚廃止の約束を守って！少女たちに少女らしい生活を！)

ロック・マルク・クリスチャン・カボレ大統領

ツイッターアカウント: @rochkaborepf

フェイスブックページ: <http://tinyurl.com/gw2yco6>

## ビルマ 別の学生活動家も釈放！

ビルマでもう一人著名な学生組織活動家のナンダーシッアウンさんも、4月8日に釈放されました。

全ビルマ学生連盟で長年活動してきたナンダーシッアウンさんは2014年の年末から翌年にかけて、学生らの行動を規制する新教育法に強く反対して抗議活動に参加したこと、昨年3月には、別の学生のデモへの弾圧と逮捕に抗議してデモを組織したことなどで、騒乱などの容疑で起訴されていました。いずれも、非暴力の穏健な活動だったのですが、警察は力でデモを封じ込め、多数を逮捕したのです。したがって、釈放は当然のことですが、皆さんのご支援がその背景にはあります。

長い間、ご協力ありがとうございました。

## UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F  
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778  
E-mail: [uaoffice@amnesty.or.jp](mailto:uaoffice@amnesty.or.jp)

UA 年会費 3000 円  
郵便振替 00120-9-133251  
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本